

第5回 市立特別支援学校検討委員会

- 日 時：平成24年1月24日 午後7時から
- 場 所：魚沼サンティックスクール
- 出席委員：16名
- 事務局：南雲教育部長 隅谷学校教育課長 内山指導主事 大塚主幹
渡辺障がい福祉係長 金井主事 野澤設計士 富所設計士

議 事

○開会

課長 内容も徐々に詰まってきた。図面を見ていただきながら、またご意見をいただきたい。

部長 体育館の設計事務所も決まり、叩き台の図面もできている。いよいよ役者がすべてそろったということで、開校に向けて進んでいきたい。先日、新潟市障がい者 IT サポートセンターから障がいがあっても使えるパソコンの話があり、所長の話の内山指導主事と二人で聞かせていただいた。これから、ここにいる人間だけでなく色々な人間と絡み合いながら、重複の障がいをお持ちの方にもそういったパソコンのような備品を買うことによって色々なことをやっていき、様々な情報を発信できる支援学校にしていきたい。

課長 それでは協議に入る。色のついた図面を見ていただくと全体が見える。管理棟のところを見ると前回話のあった車寄せができていのがわかると思う。それでは順番に説明をしていきたい。

野澤設計士 それでは教室棟と管理棟の説明だが、前回から変わったところだけ説明させていただきます。まずは管理棟の車寄せだが、今までのスロープを半分とりやめて壁沿いにあがっていくという形にした。それから、左側に体育館との通路としてスロープをつけた。車いすで出入りするには少し無理があるかもしれないが、体育館を設計する富所設計と相談しながらなるべく努力していく。電気室について、今までは電気室の中に非常用の電源を設置する予定だったが入らないので外に本体を置かせてもらった。調理教室の床について、ピットや仕上げをやり直すことにした。ウェット式ではなくドライ式にすることにした。教務室について、机を動かすことはほとんどないという前提の下に床をはって電源を入れるようにしたい。次に二階だが、車寄せの上に屋根がついた。廊下の延長で体育館に行ける通路をつける。視聴覚室について、天井からのフックをつけてほしいということなので描いておいた。以上が管理棟で修正した項目となる。教室棟については基本的には今までと変わらないが、小出特別支援学校からの要望事項を検討させてもらった。一階の重

重複学級を仕切るという話を前回させてもらったところ入口をもう一つつけられないかという要望があったが、構造上無理だった。また重複学級の仕切りの件だが後ほど内山指導主事から説明をしていただく。次に、一階の非常時用のスロープについて、一階から三階までスロープにできないかという要望があったが、できなくはないが、雪国仕様ではないうえに北側に設置するので北風に吹かれて壁をつけないと使い物にならないと思われる。壁をつけるにも床面積など色々問題がありかなり厳しい。降りる分に関しては、緊急時には先生がおぶって降りるという話だったので、スロープに関してはご理解願いたい。窓の下の高さを90cmくらいに押しえられないかという話があったが、今の窓を10cm下げることになる。壁の内側には補強筋という鉄筋が入っているのだが、それがちょうど窓から10～15cmくらいの間に入っている。それを取っ払うとなるとかなりすごい仕事になる。教頭先生と話したのだが、これから作る部分に関しては好みの高さにすることができるが、既存の部分については変更をしないほうがいいと思う。

内山 重複学級の仕切りの件について。本来であれば小学部と中学部それぞれ分けた部屋がいいことはわかる。しかし強度上不可能だということになればこのような仕切りにせざるを得ないと思う。部屋を分けたことで水飲み場やモップ洗い場所も両方につけることができたので、活動場は支障なくいけるだろうと思う。音が気になるのではないか等を言い始めると、他の教室についても波及してくると思う。これでできるだろうと私は考えるがどうか。支障が無ければこの線でいこうと思う。

部長 少々補足をする。調理実習室の床を湿式から乾式に変えたことについて、現在中に排水口があることで蚊が出たり臭いが出たりすることを改修する意味もある。左側のスロープについて、日中一時支援に行く通路になっている。体育館にもエレベーターを付ければいいのだろうが、そこまではできない。前に話があった土足ではなく内履きにするという件について、支援学校に入る時は職業訓練校のほうもスリッパに履き替えてもらうように話をしている。

課長 ざっと説明させていただいたが、質問等があればどうぞ。

委員 重複学級の仕切りについて、小学部の教室に入るためには中学部の教室を通ることになると思う。小学部の教室に入るところまでの間も間仕切り等で中学部の教室から見えないようにできないか。

部長 充分可能だと思う。

野澤設計士 アコーディオンカーテン等にするよりも備品等で対応したほうが応用が利いていいと思う。

委員 間仕切りのところにある入口は引き戸かドアか。

野澤設計士 ドアで描いてあるがどちらでも良い。

委員 車いすだと引き戸のほうが良いと思うがそうすると音が出るが。

野澤設計士 当初アコーディオンカーテンのイメージがあったので引き戸のまま残してあった。固定式の壁なら引き戸のほうが良いとは思いますが。どちらでも可能。

課長 それでは次に体育館棟について説明を。

富所設計士 まず位置だが訓練校の実習棟を壊してそこに建設する。構造は鉄骨の二階建て、一階は399㎡、二階は401.37㎡となっている。それではこの部屋について説明を行う。一階の日中一時支援の部屋については、まきはたの里からいただいた図面に基づいて設計させてもらった。部屋の大きさや位置については変わっているが、要望された部屋数や部屋については確保してある。ポーチから玄関に入ってホールで靴を脱ぎ、正面の廊下に水飲み場を作っているため手を洗い、部屋に入ってもらおう。多目的室と名前をつけているスペースが、事務スペースと御勝手スペースを除いて66.5㎡となっている。15人くらいの食事ができるスペースがほしいということだったが、これだけあれば十分可能だと思う。その上のほうに静養室ということで、ベッドを二つつけて19㎡とってある。その上に和室の7畳をとってある。30～40cmの段差をつけてほしいという要望だった。8～10畳とってほしいということだったが、現状だと7畳しか取れていない。多目的室の窓下には物入れをつけてほしいということなのでとってある。上のほうには物入れがあり、その上にトイレ、洗面がある。男子の便器が大1小1、女子が大2をとってある。女子の便器は和1洋1と言われているのでそのつもりでいる。男子便所の奥に洗濯室をとってあるがシャワーがほしいということなのでシャワースペースもつけてある。階段下のスペースに更衣室をつくった。左の方には機械室、準備室、クーリングタワー等がとってあるが、訓練校の実習室がなくなるので一部実習室を確保してあげないといけないのでこの位置に作った。訓練校からは渡り廊下で移動できる。二階について、一階から階段で上って、上ったところには廊下があり右側が渡り廊下でその先に管理棟がある。下に男女のトイレがあり、一階と同じく男子が大1小1、女子が大2となっている。アリーナは332.5㎡となっている。固定式のステージにするとアリーナが狭くなるので格納式のステージを採用している。以上ご意見等があればお聞かせ願いたい。

部長 当初30m×15mの体育館を計画していたが、敷地を確認したらこれが精いっぱいだった。予算的に削ったわけではない。

課長 質問等があれば受け付けます。

まきはたの里 要望させていただいた部分を、配置は変わっているが要望としてはすべて聞いていただいた形になっているので特に言うことはありません。

委員 日中一時支援の送迎の関係で前回雨が降るといった話が出ていたかと思うが、玄関の位置を渡り廊下の下にすれば雨に濡れずに入れるのではないか。

部長 もしくは玄関に車寄せをつけるか。

委員 朝の日中一時支援をしてもらえるとすると、送迎のバスよりも早く見てもらいたい方は個人的に送ってくることになると思うが、そうすると車寄せがあると良いかなと思う。

部長 今までもずっとそういう方向で来たとし、これはやらなければいけないかもしれない。設計事務所に検討してもらおう。

委員 体育館の屋根はどうなっているのか。例えば雪が落ちてきたりしないのか。

部長 水を上げる予定にしている。

委員 そうすると雪が降っている時は余計に水が落ちてくるのではないか。

富所設計士 です。玄関のポーチには屋根がついています。

課長 なんとかできそうな話をしているので検討してもらおう。

委員 以前話した、体育館の上にプールというのは無理だろうか。

野澤設計士 管理が大変だと思う。鉄骨の建物は地震の時には揺れるようにできている。揺れた時に防水の問題でかなり支障がでてくる。

委員 校舎棟に小さな屋上を作ってもらった。そこにプールを置くかもという話が出ていたかと思うが、その手すりの高さが110cmというのは低すぎると思う。150cmくらいはほしい。

野澤設計士 基準法に110cmというのがあるのでそうした。150cmでもよいのだが、中のほうが狭くなる。ただ柵を立てるだけではなくて受けをつけないと雪が積もった時に負けてしまう。柵を高くすれば受けの部分も大きくとらなければいけないので狭くなる。

部長 150cm程度というのは説得力が無い。意見を出してもらうのは貴重なのだが、110cmの根拠は基準法にあるが、150cmの根拠は無い。150cmでもいいのだが、150cmにしているところがあるとかそういう情報も一緒に出してもらえると助かる。

野澤設計士 長岡市立養護学校は110cmだった。ただ、屋上を実際に使っているかは不明。

部長 そうまでして屋上を使う必要があるのかも疑問ではある。案外使っている学校は少ない。

野澤設計士 スロープで出られるわけではなく、階段を2, 3段上がって、下がって行くスタイルなので使い勝手がどうなのかはわからない。

部長 ここまで積み上げてきて使うということになっているし、今の話はわかったので我々も調べるが、もし根拠があるのであれば教えてほしい。使いやすい方向で検討したい。

野澤設計士 雪の管理はしっかりしてもらわないといけない。そのままにしておくとしてもやられてしまう。

委員 バレーボールとバトミントンのコートが1面とれるようになっていて支柱の穴が空いているのだと思うが、体育の授業を行うときに1面だとどうしても授業がしにくい。多少狭くても、支柱を立てて2面とれると授業が行いやすいと思う。他の体育の教員にも聞いてみたのだが、肋木や昇り綱等もあればいいのではないかという話も出た。他に、鉄棒について、備品であると安全管理がかなり難しい。埋め込み式の支柱で鉄棒ができるとありがたい。コートを2面とるのであれば間仕切りのネットもあれば授業はしやすい。

富所設計士 コートは基準に合わなくてもよいのであれば2面とることはできる。

委員 この広さだとバスケットボールやミニバスはどうなのか。

富所設計士 バスケットは全然足りなくて、ミニバスも余裕が無い。

委員 体育でバスケットを題材にしたかったり、障害者スポーツのツインバスケット等もあるので、設備の面で難しいのであれば備品で検討してもらったりして、できる環境があればありがたい。

委員 屋根までの高さはどれくらいなのか。

富所設計士 まだそこまでははっきり考えてはいない。

委員 バレーボールができるということなのである程度の高さはあると思うが。

部長 精いっぱいの高さはとるが、正式に球技をやりたいのであれば、市内をキャンパスにして他の体育館を利用するという事も考えてもらいたい。

富所設計士 バスケットゴールもいるのか。正式なコートはとれないのだが。

委員 移動式の備品でカバーできればいいと思う。

部長 コートがとれないにしても壁につけたほうがいいのではないか。

委員 用具室を見ると移動式の備品を置けるほどの容量は無いし、他の物を削るというわけにはいかないと思う。開閉式の上からおろすものがあればなおいい。

部長 今日初めて図面を見るのだし、また小出特別支援学校に持ち帰ってもらってまた意見を出してほしい。

野澤設計士 備品はあとでも付ける、付けないは決められるので、平面計画がこれでいいのか悪いのかをまず検討してもらえると進みが早い。

委員 備品は体育館に置かなければならないものだと思うし、ではどこに置くかとか用具室は足りるのかといった話になると思う。

部長 しかし、今でも入りきらずに体育館の隅に置いてあるということもあるでしょう。

委員 うちの学校ではある。

部長 全部入る用具庫があればいいのだが、限られた敷地の中で考えたので、整理整頓をうまくやりつつ、ある程度はしょうがない部分もあるのかもしれない。

委員 トイレについて、男女とも障がい者用ではないし管理棟の二階も障がい者用が無い。障がい者用を使いたい場合は教室棟まで行くか、管理棟の一階まで行かなければいけないのはちょっと遠い。

部長 数が少なくても障がい者用のトイレにして皆で使ったほうがいいのではないかな。

課長 アリーナ部分のトイレについては男女とも障がい者用トイレ一つにして、足りない時には管理棟のトイレまで行くということでどうか。検討してもらいたい。後で質問していただいでかまわないので、次に日中一時支援について説明をお願いしたい。

まきはたの里 朝の預かりを行えるかということについて、現状は行おうと考えている。開始時間については、要望を伺った時には一番多かったのが朝は7時30分という意見だったのでそのあたりに設定して検討を始めればいいのかと思っているがご意見いただきたい。放課後は何時までかということについても同様にご意見いただきたい。学校がある日については始まる前と放課後に行く予定だが、一日の預かりも検討している。ただ、何人くらいの利用があるかによってここだけで行うのかまきはたの里本体も必要になるかが決まってくるのでなかなか詳しい議論に入れにくい。

部長 そろそろ小出特別支援学校などでアンケートをとったら新しい支援学校に来るか、日中一時支援を利用するか、意思表示できる段階に来ていると思うのだが、保護者から見るとどうか。

委員 使う側として言わせてもらおうと、何時まで預かってもらえるかによっても決まる。どちらを先に決めるかという話になってしまって難しいのだが、バスや預かってもらえる時間の具体的な叩き台を作ってもらえればそれをもとに返事ができる。要望がどれくらいあるかわからないと時間を決められないというのもわかるのだが。人によって様々な理由で様々な時間の要望が出てくる。障害児者生活支援センターかけはし（以下かけはし）のように送迎サービスがあるとだいぶ違う。

部長 かけはしのような有償福祉送迎サービスを市が探せばいいのか。

委員 南魚沼市には有償福祉サービスをやっているところは無いが必要。日中一時支援も必要だしスクールバスも必要だが、それだけでは埋まらない隙間がある。

部長 そういう業者を市も含めてみんなが探さないといけない。

まきはたの里 有償福祉サービスの運送は非常に難しい。タクシー業界から見たら非常に迷惑。タクシー業界の了解がないとできない。かけはしもやりくりしてやっているし、すぐに南魚沼市にどこかの業者が、というのは難しい。

部長 今皆さんが通学バスを使っている会社にお問い合わせできる部分はないのか。

委員 同じような場所、時間で使えるとわかればかなりの人はいいと思う。かけはしをつかっている人たちはかけはしにお願いするくらいはしたほうがいいのかもしれない。

部長 市のほうからかけはしにかけあえというのであれば我々もやらなければいけないだろう。

委員 そういう後押しをしてもらえればずいぶん違うと思う。

課長 そろそろ開校準備等について話したい。学校の名前を決めないといけない。公募も考えたが時間も無い。検討した結果「南魚沼市立総合支援学校」という名前にしたい。総合というのは、職業訓練校が併設され、日中一時支援が体育館の下にあり、だんぼの部屋という家庭教育支援も内部に設置されているというようなことと、新しいことにチャレンジしていこうということも含めてつけた。この名前で決めさせていただきたい。通学バスについて、湯沢方面と浦佐方面の時刻表の叩き台を作ってみた。今の駐車場を基準として、あまり早く学校につかないように遠回りをするルートを考えてみた。時間や停車場について、これでいいのか考えてみてほしい。基本的には市が民間にバスの運行委託をする方向で考えているが、県の就学援助が対応になる部分については財政面も含めてお願いしたいということを考えると、保護者会でバスを借りていただいて慣れている業者に継続的にやってもらうのも一つの考えだ。

部長 一度には決まらないと思うので考えてもらってあとで意見を出してもらうことでもいいと思う。バスについてもまたじっくり皆で話し合わないと決まって行かないだろう。

部長 今やっている業者に引き続き頼んで、足りない部分に我々が補助金を出してという形のほうが、融通がきくのかなというのもあるのだが、そうなったときに今やっている業

者がかけはしみたいなことまでやれる可能性があるのか。

委員 スクールバスと違う時間に送迎をやるということなので難しいと思う。それでも、そういう補助が出るのであれば、皆で帰る時間をまとめればなんとかなるかもしれない。

課長 小出特別支援学校は何時から受け入れているのか。

委員 基本的には9時。スクールバスなどでそれ以前に着く方は入ってもらっているが、それでも8時40分頃。

課長 今スクールバスを利用している方からこの叩き台の時間を見て一言いただきたい。

委員 時間的にはかわらない。ここにくることになったとしたら、現在塩沢公民館や六日町庁舎から乗っている方々の中にはバスを利用しなくなる方もいると思う。送って行った方が早い。ただ、仕事の関係で送って行っても学校に入れないうちの方もいる。そこで日中一時支援が7時30分から見えてくれるのであれば助かる。ただ、だからといって塩沢公民館や六日町庁舎で乗れなくなるのも困るだろう。

課長 では、新しい支援学校に来ると決めた方が、直接送り迎えするかどうかの把握はすぐできないだろうか。それがわかればバスの時刻もまた組みやすい。

部長 日中一時支援が7時30分から受け入れるとは言っていいのでしょうか。

課長 校歌校章について話したい。市のほうで、できれば地元の方をお願いしたい。公募ではない方向で考えている。

部長 校歌について内山先生の提案は、子どもたちにいい言葉を出してもらってそれを校歌に入れて作って行くというもの。校章について私が提案しているのは、長谷部昇さんという方が情報高校の校章を作ったのだがその方をお願いするという。彼は元は高校の校長でトミオカホワイト美術館の館長をした方で、特別支援という切り口で一生懸命な方。公募ではなく時間をかけずに行いたいと思っている。

課長 就労支援カリキュラムについてだが、これも四月になって加配の先生がいっぱいつくということはないかと期待をして、その頃から始めさせていただきたい。

部長 服部委員と大澤澄男先生からの質問について口頭で回答したいと思う。

内山 非常に勉強になると思ったので皆さんにも一緒に聞いてもらいたい。

Q. 支援学校の利用者の将来予測はあるのか。その調査もしくは統計等があるのか。

A. 無い。不可能である。小学校に入学するお子さんならば出生数から6年後の人数がある程度わかるが、生まれたお子さんが支援学校に入るかどうかはまったく予測ができない。では我々が何を基に考えているかという、現在の子どもたちの様子の中から考えている。そこから考えると開校年度に予想されている50名という人数がこれからも続いていくだろうと予想している。

Q. 幼稚部があるか。設置するか。

A. 設置はしない。

Q. 特別支援学校の設置基準はあるのかないのか。

A. 法令で定める設置基準は無い。これは大変問題がある。小中学校には設置基準があるのでグラウンドや体育館を作らなければならないとか照明の明るさは等々なことが決められている。ところが特別支援学校には基準が無い。図書室が無かったり、特別教室を潰して普通教室に転用したり、といったことをしている。良く言えば運用がきくと云えるが、悪く言えばいい加減なことをしているとも言える。

Q. 訪問学級があるのかどうか。また訪問学級のためのスクリーニング室があるのかどうか。

A. 訪問学級は希望している保護者、お子さんがいらっしゃるので設置する予定である。スクリーニング室は、希望するお子さんに合わせて重複学級を使っていく。スクリーニング室として特別にはありません。

Q. リハビリ室、機能訓練室はあるのか。

A. 図面でみてわかる通り無い。おそらくこれらが設置されている学校は今のところ無いでしょう。あるとすれば病弱養護学校のようなところや病院とつながっている学校がその病院が持っているリハビリ室や機能訓練室を使っているというところだろう。

Q. 地域支援室があるのか。

A. 地域支援室が何を意味しているかがわからないので今のところは無いと答えておく。

Q. 作業棟などのスペースの不足がないのか。また、屋外に増設可能な敷地があるのか。

A. 現在作業室等については必要最低限は満たしていると考え。現在は増設可能な敷地は無い。

以上。

部長 校舎棟については実施設計がもうすぐ終わる段階になった。

課長 体育館棟については車寄せとトイレ、コート関係について課題が出た。時間がなくなってきたので、今日出た課題についてできる限り設計に反映させて進めさせていただきたい。

野澤設計士 集まるのではなく、できた図面を配って意見をもらった方がスムーズかもしれない。

課長 では、図面を配って意見を出してもらい、それを集約し順次進めていくということにする。

部長 バス等については徹底的に議論しないと進まない。

委員 利用者が意思表示できるような条件を提示してもらえると話を進めやすい。

部長 まきはたの里は朝7時30分から行うということでよいか。夕方はどうか。

まきはたの里 朝は7時30分でよい。夕方については、現状よりもサービスを悪くするのもどうかと思うので18時30分というのが一つのラインになると思う。

委員 そういう条件を提示してもらおうと考えやすい。

委員 帰りには送迎は無いのか。

まきはたの里 送迎はしたほうが良いとは思っているが、はっきりとは言えない。

委員 18時30分までやってもらえれば迎えに来られる家庭も多いと思う。

部長 もう一度、代表者とまきはたの里と教育委員会で話をしてみるということでどうか。特別支援学級に通っている子どもたちの中で日中一時支援を利用したいという方は何人くらいいるのか。

委員 調べたことがないのでわからない。ただ、利用している方もいらっしゃる。

部長 学童保育に行っている方もいるかとは思いますが、そういう方がこちらに来たいということもあるかもしれない。

障がい福祉係長 前に一度利用したいかのアンケートをとったが、はっきりしない回答が多かった。

内山 次回は日中一時支援のことについて話し合うとテーマを決めて、特別支援学級の方にも案内を出して参加してもらい、叩き台を出して話し合いをする。

委員 日中一時支援についてもう一つ質問がある。長期休みの間の給食について、まったく無いのか、他のところから調達する可能性があるのか、次回にでも方針を一つでも教えてもらいたい。

まきはたの里 現状の話だが、まきはたの里で作ったものを持って行くのは勘弁してもらいたい。また、弁当を持ってきてもらうのも衛生的に厳しいという話が出ている。ただ、他の場所で仕出し弁当を出してもらう仕組みのところがあるらしいので、そういったあたりに当たってみたい。

○次回の日程

日 時：2月14日（火曜日）19：00～

場 所：サンティックスクール

閉会（21：25）